

## 第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第13講座】

開催日 2022年12月17日(土)

- 時間 9:30~16:30
- 場所 小郡市生涯学習センター(小郡市大板井)  
平田家住宅(小郡市小郡1155番地)

### ● 参加者

■第1期生13名(欠席:3名)

■木村 貴志 塾長 / 森 就子(事務局) / 井上 和樹(事務局) / 西山 茂代(事務局)

■医療法人せいわ会 理事長 大橋 晋弘 様

NPO法人文化財保存工学研究室 宮原 夕起子 様 / 刈茅 洋子 様

小郡市文化財課 課長 杉本 岳史 様



### ● 内容 第4回経営者講話、平田家住宅見学

- 9:30~10:50 これまでの振り返り、文献に触れる①、平田家住宅見学の事前学習
- 11:00~12:05 第4回経営者講話 医療法人せいわ会 理事長 大橋 晋弘 様
- 12:05~12:55 昼食(お弁当)
- 13:10~14:20 平田家住宅見学
- 14:40~16:30 少年教育10原則朗唱、文献に触れる②、2023年私の10大目標、本日の振り返り

### ■これまでの振り返り

○入塾から前回までの講座を振り返る(動画視聴)

<塾長より>これまでの軌跡を振り返ることは大切

【塾生感想】・いろいろなことがあったなあと思う。

・あつという間だったなあと思う。

・まだできていないことがあるので、できるように頑張りたい。

○ニュースレターを読む

<塾長より>

・ニュースレターはみんなのレポートから作成されており、他の人のレポートから学ぶことができる。

【塾生感想】

・みんな違うことを書いており、他の人のレポートも読んでみたいと思った。

・他の人のレポートは全然違う視点で書かれていてすごいと感じた。

・同じ体験をしているのに、違うことを書いているのがいいなと思った。

・それぞれでレポートの書き方が違うので勉強になった。



### ■文献に触れる

○「世界で通用する日本人であるために(安田 信氏 著)」

①リポーティングはスピードが命

・日本では、出張から帰って数日後にレポートをしっかりとまとめればよいが、海外では出張から帰ってすぐに報告を求められる。すべてにスピードが必要なのが国際社会のビジネス。

②スピーチはいかに人に伝わるものにするか

・話し手が事前に用意した紙を読み上げるスピーチは、聞き手からすれば、スピーカーが紙を読み始めた途

端、興味が半減する。

・ポイントを押さえた短いスピーチが出来たら、突然、尊敬の目で見られるようになるだろう。それほど、スピーチは大事なのだ。

・あらゆる想定質問の回答をきちんとまとめた紙を読んだりもしたが、それでは生きた答えにならない。とつとつとしていても、質問者の目を見て、自分の言葉で何とか返事するほうが納得してもらえ、良い評価を得られることが分かった。

### ③日本の素晴らしいところ、お粗末なところ

・日本人は、歴史的にも確固たる信念とプリンシプルをもつ人がたくさんいたが、現在は、国際社会の中で理解されにくい人たちになっている。また、傑出した個人が少ないともいわれている現状。

・それは、とにかく平等で平和で、皆が同じでなければならないという戦後文化の行き過ぎが原因。それがプリンシプルの欠如、いわゆる金太郎飴的思考、曖昧さ、ガバナンスの質の悪さ、意思決定の遅さ、リーダーシップの欠如、弱者にスタンダードを合わせる傾向、などの根っこになっている。

・勝者の義務として弱者の福利を常に頭に置いて行動する文化であれば、国際社会でも個人として多様な人々と付き合っていける。

・自分の考えも持たず、それを発信することもできず、上司や周りの人たちの目ばかり気にしているところでは、世界に羽ばたける人材は育たないことはいうまでもない。

・枠にはまっているから、結果、国全体の雰囲気として自己責任の気持ちに欠け、何でも人のせいにする傾向になる。

<塾長より>国際社会ではスピードが必要。反射神経を鍛える必要がある。

#### 【塾生感想】

・悪口だけ言っている人が多く、自己責任がない人が多いと感じた。

・自己責任というところで、自分も人のせいにする場面があるなと思った。

・スピーチの大切さがわかった。

・自己責任のところで、自分は提出期限が守れてなく、できていないと思った。

・「もっと自由に・・・」のところで、確かにそうだなと思った。

・母が「人は鏡だ」と言っているが、確かにそうだなと感じた。

### ■平田家住宅見学の事前学習（日本庭園について）

#### ○日本庭園は3つのタイプがある

①池泉庭園・・・庭園の中心に池を配置（日本庭園で最も多い様式）

②枯山水庭園・・・平坦な土地に水を用いず石や砂を主として構成される、山水風景を象徴的に表現した庭園

③露地（茶庭）・・・山寺や深山の自然を写す心持。樹木は常盤木を主とする。

#### ○日本庭園と西洋の庭の違い

・西洋の庭は、シンメトリー（左右対称）であり、色使いが鮮やか。これは人間が作ったことがわかるものであり、人が自然よりも優位であることを示している。

・一方で日本の庭は、自然を生かした作りこみをしており、人と自然の調和という視点が見て取れる。

#### ○庭師 松尾仙六について

・大正～昭和初期に、小郡や鳥栖で造園を手掛けた庭師。

・特徴は、巨岩を採石地でいったん分割し、庭園に運んだ後パズルのように組み上げる構造。

<塾長より>今回見学に行く平田家住宅は、日本庭園のどのタイプになり、なぜ文化財となっているのかを、見学や説明を通して学んでほしい。

## ■経営者講話 医療法人せいわ会 理事長 大橋 晋弘 様

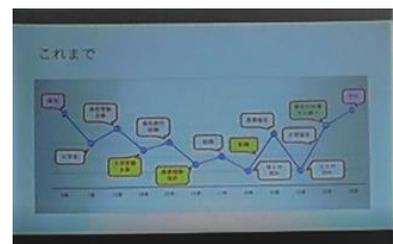
### ○し・ご・とについて

- ・①寝ているときにみるもの②将来実現させたいと思っている事例
- ③現実から離れた妄想や楽しい考え④心の迷い⑤はかないこと、頼りにならないこと これらは辞書に載っている「夢」の意味。

今日はこの中で②について話します。

#### ①自己紹介

- ・病院には外国人の患者はいないがスタッフにいるため、世界は身近になっていると感じる。
- ・ウクライナ侵攻による物価高騰や新型コロナの影響など、世界の出来事は身近になっていて、世界・広い視野でものごとを考える必要を感じている。
- ・自分の年表をグラフ化してみると、結構凸凹している。いいことの後には悪い事、悪いことの後にはいいことが起きている。なので、今日は100点にしているので、そのあとに悪いことが起きるかもしれないが、それがきっかけでいいことが起こるかもしれないと思っています。
- ・人生は点と点がつながって、線になっていることが分かると思います。



#### ②医療と介護・福祉って？

- ・自分がしている仕事は、「社会にある困りごとを専門職が治療し支えて、課題解決していくこと」
- ・そのために患者を中心とした「チーム医療」を実施している。
- ・チーム医療では、医師・看護師・事務・栄養士など専門家同士がお互いを認め合うことが必要。
- ・私たちは「願望価値・予想外価値」を提供することを目指している。

価値には、①基本価値（不可欠なもの）②期待価値（あって当然）③願望価値（あればいいな）④予想外価値（喜び・感動）がある。①は、なければクレームにつながる。

- ・理事長としての仕事は経営。経営とは、何のためにやるのかという目的を明確にして「いつまでに」「どこで」「だれが」「なにを」「どうやって」「いくらくらいで」の計画を立てて決める事。そして、それを職員と共有して、法人外の協力者へも説明し理解を求めること。そのリーダーとして職員が活躍しやすい環境をつくることが役割。



#### ③仕事と経済って???

- ・仕事は、将来自立して生きていく（生活）ため必要なこと。
- ・経済とは、辞書に3つほど意味が掲載されているが、主に人間の生活に必要な財貨・サービスを生産・分配・消費する活動のこと。
- ・幸せを感じるためには、①仕事②経済も必要だが、他にも重要な要素が5つあると考えている。それが③家族関係④人間関係⑤時間と空間⑥健康⑦教養と専門性。どの分野がどこまで到達したらよいかは自分で決めることが大事。（大金持ちになったからといって、幸せとはかぎらない。）

#### ④人として、社会人として大切なこと？

- ・時間や約束を守る・・・信頼関係につながる
- ・あいさつと笑顔・・・周りに良い影響を与える
- ・感謝・・・当たり前なのに感謝すると、いろいろな事に気付くことができる
- ・学び続ける事 ・誰かのために尽くしてあげられること

#### ○今、身に付けるとよい力

1. 努力することのできる習慣（コツコツやる）
2. 負けを克服する力・挫折から立ち直る力
3. 疑問を持つ力
4. 相手の立場に立つ力

○志に向かって！

1. 自分で決めたという自己責任を持つ（途中で修正することは何の問題もない）
2. 時間の大切さを持つ（誰にでも平等にある。過去の点のつながりの先に未来がある）

【質疑応答】

Q1. 病院を複数経営する上で大変なことはなんですか？

A1. 人に任せること。人に任せるにはその人を信頼する必要があり、そのためにコミュニケーションをとるのが大事。

Q2. 経営者という役目をどのように思いますか？

A2. 患者だけでなくスタッフや患者の家族を含めると2~3,000人いるが、その人たちと関わる使命感がある。関わる人たちにとって最善の方法を実行していく必要がある。



Q3. せいわ会の病院では、けがした人とかも受け入れていますか？

A3. 病院には手術室はないが、別の病院で手術して回復途中の人や、リハビリをする人を受け入れている。

Q4. 努力を続けるコツはありますか？

A4. 三日坊主を繰り返すこと。一度やめてしまっても、また始める、やめる、始めるということを繰り返せば、120回くらいで1年続けたことになる。

Q5. チーム医療の中に地域が入っていたが、メリットは何ですか？

A5. 自分たちは地域があって仕事ができている。地域の一員であるという意識が大切。

Q6. 外国のスタッフを受け入れるにあたって難しいところはなんですか？

A6. 私たちの仕事は記録することが多いし、かなり大事だが、彼らは漢字が分からないことが多く、その対応が難しい。（必要な漢字だけを覚えさせるようにして対応している）

Q7. 自身の仕事で大変なところはなんですか？また、やりがいを感じることはなんですか？

A7. 大変なことは人との信頼関係をつくること。日々変わるし、難しい。やりがいは、患者さんや職員から「ありがとうございます」と言われたときに感じる。



■平田家住宅見学（小郡市指定有形文化財・国登録名勝）

○NPO法人文化財保存工学研究室 宮原 様、刈茅 様による平田家住宅の歴史、伝統建築のすばらしさの解説後、2班に分かれて見学

- ・座敷・・・1866年建築。庭が一番きれいに見える特等席。庭は昭和3年に作られたもの。庭石は奥に行くほどだんだん大きく、内側を向いているが、これは視線を外に向けさせる工夫。天井がアーチ状なのは、目の錯覚で平らに見えるように。釘隠しは釘を隠すために平田家の文様で作られている。
- ・門・・・江戸時代に武家屋敷から移築したもの。
- ・数寄屋・・・大正時代に平田家別荘（大原中北側）に建てられたものを昭和初期に移築したもの。柱や天井の柱が丸くなっているのは、茶室ということで軽い感じ、遊び心を出すため。柱には京都の北山杉を使っている。太さが均一になるよう、下の枝を切って育てている。
- ・主屋・・・1879年建築。入口上の電話6番は電話番号。昭和2年に小郡に電話局が開局したが、その当時は村役場や銀行、地主など特定の場所にしか電話はなかった。（ちなみに村役場は4番）



天井に特徴があり、今見えている天井は2階部分の床となっている。（今の住宅は目隠しの天井が貼ってあることが多い。）

- ・客殿・・・軒が長く、床が高くつくられているのは、湿気を防ぐため。
- ・庭園・・・巨大な岩は、鳥栖の採石場で1m四方ほどの大きさに割って、牛や馬が曳いて運び、庭園内で組み合わせたもの（昭和3年）。



#### 【質疑応答】

Q1. 池の水はなぜ抜いたのか？

A1. 池の水は、池の底が傷んでひびが入り、そこから水が漏れたため抜けた。

Q2. 池の修復費用はどれくらいかかるのか？

A2. 具体的な金額は分からないが、かなりの費用がかかると思われる。

Q3. 池を修復することはできるのか？

A3. この池は国登録となっているため、文化庁の許可があれば修復することは可能。

Q4. 天井の色の違いはなに？

A4. 濃い色の部分は元からあったものだが、薄い色は近年修復した箇所になる。

Q5. 主屋の箱（電話6番のところにあったもの）はなに？

A5. 神社のお札が入っていたといわれている。そのような風習があったとのこと。

#### 【塾生感想】

- ・昔の家でも工夫して作られているのがすごいなと思った（釘隠し、欄間など）
- ・今の家にはないものがある面白かった（滝・池や庭園など）
- ・柱が丸かったり、タケノコの形だったりして工夫を感じた。また、橋は曲がった木を使うなど自然を大切にしているなと感じた。
- ・昔の家には、コケや岩があっていいなと思った。



#### ■少年教育10原則朗唱

<塾長より> プリンシプル（10原則）を読むだけではなく、身に付けることが大切。

#### ○文献に触れる②（「味覚を磨く」（服部幸應、三國清三氏著））



・我々人間の脳や感覚にまつわる機能が発達するのは、大体12歳、小学校6年生くらいまでといわれている。言葉遣いや箸の持ち方、礼儀のような大事なしつけは、それまでに覚えさせなければ身につかないといわれるのもそのため。

・味覚の機能の発達も12歳ごろにピークを迎える。

・調理師学校の学生の朝食抜きが多いので、その点を指導し卒業の時に再度調べたが、朝食をとっている学生は全体の6%しかいなかった。それで、何事も3歳から8歳までの間にびちっとし

つけておかない限り身につかないことが分かった。

・食育では孤食、個食、固食、小食、粉食、濃食の六つが問題となっているが、その中で個食は学校がゆとりある教育を始めてから起こってきた現象。家族みんなで食卓を囲んでいるものの、それぞれが好きなものを食べているという食卓の風景。子どもの時から好き勝手なものを食べさせていると、子どもはわがままになる。協調性がなくなり、最後には他の人の言うことを聞かない子になる。そうならないために、3歳から8歳までの間は家族で同じものを食べるのがとても大切。

#### 【塾生感想】

・味覚が成長しないとまずいので、酸っぱいもの、しょっぱいもの、苦いものを少しでも食べようと思った。

- ・好き嫌いが多く、固いものも食べていないのでまずいなと思った。
- ・食事のあいさつや朝食は、自分の家では当たり前なので、ない家があることにビックリした。
- ・マクドナルドの味でしか育たないようになっていっていることが、ファーストフードで朝をすます家庭が現実に出てきて怖いなと思った。

## ■2023年私の10大目標、本日の振り返り

○1年の計は元旦にありという言葉があるので、それに倣い2023年私の10大目標を新年最初の講座で書く。今日はそのための練習として書いてみる。目標は具体的に書くこと。

### ○本日の振り返り

#### 【塾生感想】

- ・バスの中でしりとりなどしてワイワイできて楽しかった。
- ・日本人は細かいところや美意識のところは得意だが、リーダーシップが劣っていることが分かった。
- ・平田家住宅のゆがんだ窓ガラスが面白かった。水が流れているところを見てみたかった。
- ・庭園の動画で、5坪の庭園はすぐに終わる（完成する）と思っていたが、かなりの時間をかけて作っていたので驚いた。
- ・経営が面白そうだと感じた。経営者講話の中の航海の話は生き方にもつながると思った。
- ・今日は仲の良い友達が欠席だったので不安だったけど、隣の友達としゃべることができて、コミュニケーション能力があがったと感じた。
- ・庭園は寒かったけど、大きい岩や楠をみて、すごいのが伝わってきた。